

森岡地区自主防災会

地区防災計画

令和5年度・6年度版

「近助付き合いから始まる防災」

-声掛け・挨拶・支え合い-

森岡地区自主防災会 地区防災計画

目次

1	計画対象地区の範囲	
	(1) 森岡地区図	1
	(2) 森岡地区防災ガイドマップ	2
2	基本的な考え方	
	(1) 基本方針	3
	(2) 活動目標	3
3	地区の特性	
	(1) 自然特性	3
	(2) 社会特性	4
4	防災活動の内容	
	(1) 平常時の活動	4
	(2) 災害時の活動	5
	(3) 組織図及び役割分担	6
	(4) 避難の流れ	7
5	実践の検証	
	(1) 防災訓練の実施・検証	8
	(2) 防災意識の普及啓発	8
	(3) 計画の見直し	8

1 計画対象地区の範囲（森岡地区全域）

森岡地区は東浦町の北部に位置し、最大で東西約3 km、南北約1.3 kmあり、辰の様な形をしている。北は石ヶ瀬川、南は岡田川が流れ、東に位置する境川に合流する。「南海トラフ地震」による津波の最大浸水は約2.5mと予想される。森岡地区の東部は標高2 mの地域があり、浸水被害が予想される。中央から西部は丘陵地であり、人口の約95%はこの地域に住んでいる。南部には一部液状化の危険性が高い地域がある。



○ 比較的高台の地域 ○ 浸水が心配される区域 ○ 集落が密集している地域 ○ 南部区画整備予定地域 ○ 大規模開発予定地域

2 基本的な考え方

(1) 基本方針

- ・災害に備え、普段からの準備と心がけを継続し、ご近所の方への**声掛け・挨拶**を行う中で、相互の親睦を図り、「**災害に強いまちづくり**」を目指します。
- ・協力し合える関係づくりを重視し、「**近助力**」を高めていきます。

(2) 活動目標

- ・災害に備えて、**若い世代の方も参加**し易い防災訓練を行います。
- ・在宅避難が出来るように**家具転倒防止**の対策や最低5日間程度の**食料・飲料水等の備蓄**を自主的に取り組んでもらいます。
- ・災害時に頼りになる**中学生の方に**、地域の防災訓練に参加していただきます。
- ・防災の組織づくりを行い、より**実践できる組織**をめざします。
- ・**避難行動要支援者**に向けた避難行動訓練をスタートできるように、関係部署との打合せを行います。

3 地区の特性

(1) 自然特性（森岡の独自性）

- ①**想定震度**・・・震度6強
- ②**液状化の危険性**・・・川に囲まれており、特に岡田川の下流周辺に於いて液状化の危険性が高い場所がある。
- ③**洪水浸水の危険性**・・・標高2m地域に於いては、危険度がかなり高い。（※標高は防災マップより引用）
- ④**津波浸水の危険性**・・・標高2m地域に於いては、危険度が高い。（※最大浸水は防災マップより引用）
- ⑤**火災の危険性**・・・郷中地区は集落が密集した中で、道路も狭く風の影響で延焼の危険性がある場所がある。

(2) 社会特性

- ・森岡地区は、男性2593名、女性2594名の計**5187名**が住んでいます。（令和5年7月末時点）
- ・世帯数は郷中2146世帯となっています。
- ・65歳以上の高齢者が2275名住んでおり、**全体の人口の28.1%**を占めています。（森岡地区全域）
- ・仕事場が近隣市部の方が多く、**昼間の人口**は小学生以下の子供とお年寄りが多い。
- ・最近森岡地区内の工場・事業所の増加傾向により、以前より「**働く世代**」が増加している。
- ・ドミー&ゲンキーなどの**中規模小売業**などもあり、周辺には**飲食店**も多数ある。
- ・他エリアからの**買い物客**や飲食店利用者も多くいる。
- ・幹線道路及び準幹線道路網が多く、**抜け道的**に利用する方が多い。
- ・大府市や名古屋方面の通勤なども便利な事もあり、**人口はここ数年横ばい**状態である。
- ・「健康の森」や「げんきの郷」「長寿医療センター」「あいち小児医療センター」など健康や医療をテーマとした**施設が多く**あり、森岡台周辺は宅地として**人気の場所**である。

4 防災活動の内容

(1) 平常時の活動

- ・災害発生後、速やかに地域の方の**安否確認**が出来る体制を構築していきます。
- ・各家庭における「**指定緊急避難場所**」「**指定避難所**」「**避難経路**」の確認・把握をしておきます。
- ・各家庭の水・食料・雑貨品などの**備蓄品**及び**個人の薬**の確認をしておきます。
- ・家具の転倒防止や**安全に避難**する為に「**どうしたらいいか**」を考えておきます。
- ・**避難行動要支援者**がどこに住んでいるか把握しておきます。（防災組織の主力メンバー）
- ・避難行動要支援者を**救助できる人**をあらかじめ決めておきます。（支援者家族にも伝える）
- ・避難行動要支援者向けの**避難行動訓練**を定期的におこないます。
- ・災害時にスムーズに動けるように**マニュアル**を作成しておきます。
- ・**危険箇所**を**図面**に落とし込み、皆さんで見える化します。
- ・緊急時にすぐに持ち出すものを**リュック**などに**準備**し、玄関近くに置いておきます。

前頁の続き

- ・家族で日頃から**緊急時の避難場所**を決めておきます。（津波の恐れのある場合は、高台のある方向に逃げる事を決めておく）
- ・**緊急時に情報収集**の為にラジオなどの準備、スマホの充電機、自家用車のガソリン補給などを小まめにおこなう。
- ・災害時におけるけがなどの**応急処置が出来る方**の把握をします。（消防関係者・看護師・看護知識をある程度有している学生の方など）
- ・**漏電ブレーカー**の取り扱い等の把握をしておきます。
- ・いざという時に連絡がスムーズにいくように**日頃から情報連絡**を密にしておきます。

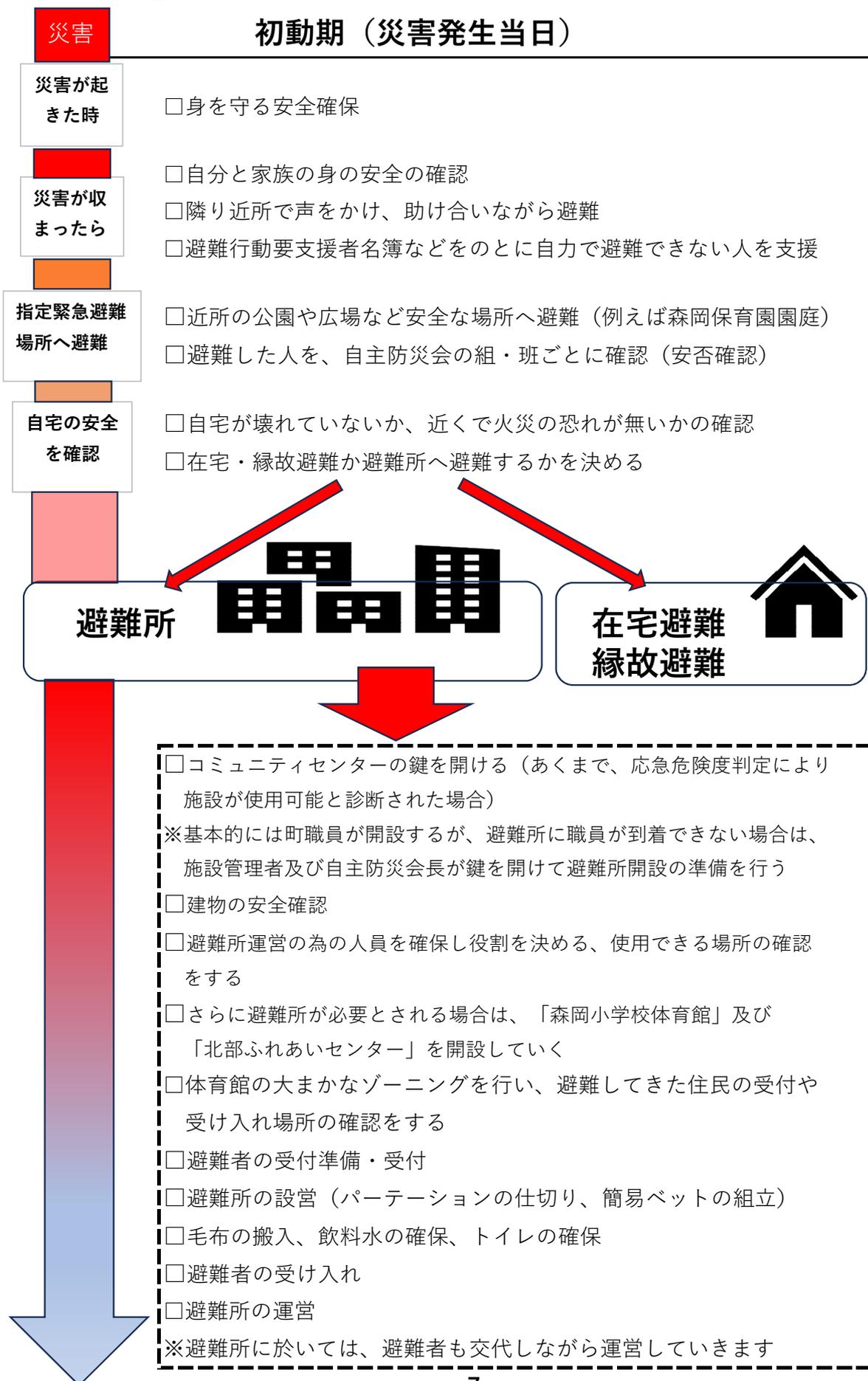
（２）災害時の活動

- ・**初期消火**を行います。（地域にも消火器・消火栓・ホース格納箱が設置されています、緊急時にはためらわず使用してください）
- ・ご近所に**救助を必要**としている人がいないか、声掛けをおこないます。
- ・けがをされた方等の**手当、救出**を行います。
- ・安否確認の為にドアの外に「無事です」カードを付けます。（在宅・避難済み・異常ナシなど）
- ・避難を誘導する人が、**避難場所に誘導**します。
- ・避難場所で**安否確認**を行います。
- ・**正しい情報**を密に流します。
- ・在宅にて**自分の身を守る**為の行動をします。
- ・**避難行動要支援者の救助**を複数名で行います。（状況により在宅避難が良い方もおられます）
- ・2次災害を防ぐ為、**漏電に対する対策**として漏電ブレーカー以外を切ります。（通電時火災防止）
- ・食料を配布、**物資の割り振り**、炊き出しを行います。
- ・地域の責任者は様々な**情報をメモ**して残し、災害対策本部で情報をまとめます。
- ・「災害対策本部」の構成員は、森岡区議員及び区議OB会の一部の構成員とする

(3) 組織図及び役割分担



(4) 避難の流れ



5 実践の検証

(1) 防災訓練の実施・検証

- ◎現在
- ・昨年度までは、避難所開設の為の簡易ベットの組立・簡易トイレの組立やアルファ米の炊き込みなどを実施しました。
 - ・本年度は、①消火器の操作、初期の人命救助、②身近に有るものを使用し、**応急手当の実施**、③避難行動要支援者の為の**車椅子の操作・お年寄りになる体験**（備品の使用）を実施します。
 - ・通常の避難訓練とは別に、**避難行動要支援者の為**の自宅から避難所までのルートを付き添って避難させる訓練を行って行きたい。
 - ・今までは、**中学生の方達**には声掛けをしていませんでしたが、地域の防災訓練にも関心を持っていただく為、北部中学校と連携しながら取り組んでいきたい。
 - ・今まで郷中地区ではご近所助け合いのような活動は、実施してきませんでした。段階的に取り組んでいく中で、「**無事です**」カードがなかった為、今年度は手づくりで作成し、配布を行っていきます。

(2) 防災意識の普及啓発

- ◎今後
- ・地域の**危険箇所**を確認品がら、地図に落とし込み、地域の方に確認していただく。
 - ・令和5年度の秋には森岡コミュニセンターに**防災倉庫**がもう1か所設置される為、備蓄品が「見やすく・運び易く」なります。組長さんをはじめ地域住民の方にも倉庫の中身を見ていただく。
 - ・「組・班」単位更に小さなグループで、「**無事です**」カードを使用した「**声掛け訓練・ご近所訓練**」を実施していきたい。身近なことから取り組み、防災意識の向上を計っていく。

(3) 計画の見直し&その他

- ・令和5年度での取り組み事項が出来ていない為、令和6年度で取り組んでいく。
- ・避難行動要支援者に対して、今後どのような支援活動をしていくのか、**民生委員と地域が情報交換**する事が出来ていません。早期に実施していきたい。
- ・令和6年度11月に、「**東浦町総合防災訓練**」が森岡地区で実施されます。地域の方に多く参加していただきながら成果をあげていきたい。

